



長尾春花 (ヴァイオリニスト)

掛川市出身。2007年、日本音楽コンクール第1位。2008年、ロン＝ティボー国際音楽コンクール上位入賞など多数国内外のコンクールにて受賞。ソリストとしても国内外多くのオーケストラと共演。東京藝術大学、大学院修士課程を共に首席で卒業。グラーツ国立音楽大学修了。現在、東京藝術大学大学院博士課程在学中。

齊藤 勇 ふじのくに文教創造ネットワーク(FCN)静岡県を拠点に、音楽芸術を中心とした文化教育事業の創造・発信を通して、生涯学習環境を創造することを目指す掛川市に本部を置く地域ネットワーク。

芸術文化に携わる方々にお話を伺い、掛川市の文化振興のヒントをいただくこのシリーズ。第四回目は、掛川市出身のヴァイオリニスト 長尾春花さんと、静岡県で文化教育事業を推進している ふじのくに文教創造ネットワーク理事長 齊藤 勇さんに対談いただき、お話を伺いました。

子どもたちの未来につながる支援を

齊藤 春花さんの音楽(芸術)の原体験についてお話しいただけますか?

長尾 自宅ピアノ教室をやっていたので、母のお腹の中にいる時から音楽には触れていました。残念ながら覚えてはいませんが(笑)。ですから生まれてからも家には絶えず音楽が流れている状態で、それを聴きながら育ちました。

ある日、母と一緒にオーケストラのテレビ放送を見ているときに、コンサートマスターのヴァイオリニストを指さして、「これがやりたい」と言ったらいいです。2歳ぐらいでした。あんまり何度か言うので、3歳の時に近所のヴァイオリン教室に相談して通わせることにしたそうです。この教室で基礎練習をかなりきちんと教えてもらいました。毎日朝起きて練習してから幼稚園や学校へ行つて、帰ってきてから約束がなければ、またヴァイオリンを練習しました。ヴァイオリンがとにかく楽しかったので、弾きたくて、弾きたくて。

齊藤 楽しくてたまらなかつたのですね(笑)。そのような春花さんを魅了したヴァイオリンとクラシックの芸術(音楽)をもっと理解してもらうためには、どのようなことが必要だとお考えですか?

長尾 日本のコンサートの場合、演奏者がある程度曲の聴きどころや演奏に関する話題などを説明してあげることが必要なのではないかと思っています。作品の背景がわからない曲が多

いので、情景やテクニクを解説したほうがより伝わりやすいし、興味を持って聴いてもらえらると思います。

齊藤 例をあげれば、フィギュアスケートもそうですね。選手の演技を何の解説もなしで映像と会場の音声だけを見ていても何がすごいのかわかりませんよね。あの解説があるからこそ、表現やテクニクへの観る人の理解も深まってあれだけの人気につながっている側面もあると思います。音楽に興味を持つ子どもたちに対しても、指導的な立場の方々も技術だけでなく、関心や興味を持てるような解説をしてあげてほしいですね。

長尾 あとはやはり質の高い生の音に触れることでしょいか。私はアウトリーチ活動(学校などの公共の場へ音楽を演奏しに行く)を積極的にに行っています。

齊藤 掛川市でも年に14回ほど小中学校で行っている出前の公演ですね。春花さんも何回か行っていると聞いています。

長尾 はい。これは大事にしないといけない活動です。一生に1回限りの生の音楽体験になる子もいるかもしれませんが、全力で演奏しています。教材や義務でやらされる勉強の一環の音楽としてではなく、音楽を本当に好きになつてもらう、新しい世界を知ってもらう、とてもよい機会だと思っています。演奏者の意識も高く持つてほしいですし、J-POPと同じように生活に溶け込んだ存在になれたらと思います。クラシックは特別な音楽じゃないので、ぜひ好きになつて楽しんでほしいと思います。

齊藤 春花さんがおススメのヴァイオリンの曲を教えてくださいませんか?

長尾 ビュータンの「アメリカの思い出」は「アルプス二万尺」のよく知られたメロディが出てくるので親しみがあります。4分ぐらいの曲なので小学校で演奏するととても喜んでもらえるます。サン・サンスのヴァイオリンコンチェルト第3番などは曲の終わりがカッコいいですよ!映像や風景などを思い浮かべるようなイメージを持って聴いていただきたいと思います。

齊藤 公共文化施設の役割とは、どのような



ものでしょうか?また、春花さんが考える地域の中での理想の文化的な生活とはどのようなものでしょうか?

長尾 収益だけでなく、将来の可能性に目を向けて地元の子どもの未来につながる支援をもっとお願いしたいです。

ヨーロッパでは、小さな町の音楽祭など小ホールや街角などで普通にクラシックを楽しんでいます。ウィーンならオペラの安い席は立ち見で3ユーロ(約420円)ぐらいです。安い値段で良い演奏に触れられる文化的な土壌があるので、幅広い世代が音楽を楽しんでいます。誰もが気軽にクラシックを楽しめるようになればいいですね。

齊藤 そうですね。時間がかかることだと思いますが、一般の子どもたちが参加できる機会を増やすなど、未来に向かって種をまきながら音楽文化の裾野を広げていくというビジョンを持った事業を継続していくことを公共文化施設には期待したいですね。そのような観点から企画されたクラシック&クリスマスコンサート「世界で一番の贈り物」が12月14日にシオーネで開催されます。春花さんも出演されますね。

長尾 はい。私だけでなく、掛川市出身の素晴らしい演奏家が出演します。メンデルスゾーン(作曲家)を演じる役者さんが物語を進めていき、クラシックの名曲やクリスマス音楽も楽しめるという素敵なコンサートです。ヴァイオリンの曲の中でも特に有名なメンデルスゾーンのコンチェルトも演奏します。地元の子どもたちが合唱で共演しますので、私も楽しみです。ぜひ足を運んでみてください。

齊藤 感動的なクリスマス公演になりそうですね。演奏楽しみにしています。今日はお話しありがとうございました。